



# 株式会社三愛エスポール

〒354-0046 埼玉県入間郡三芳町竹間沢東 4-6 TEL 0492-59-9164

## 知的障害者の特性を活かした業務の機械化、採算性の向上と雇用拡大

### 事業の概要

■沿革 平成8年9月、株式会社三愛・物流部の返品処理業務部門として発足。平成11年3月同社子会社として設立。平成11年5月に特例子会社の承認を受ける。

平成9年より、養護学校卒を中心に毎年採用を続け、平成11年には障害者1日雇用相談会、トライアル雇用等で3名の知的障害者を採用、平成12年にも養護学校卒3名を採用、現在9名の知的障害者を雇用している。

■従業員数 12名 うち障害者9名（平成12年1月31日現在）

| 視覚障害者 | 聴覚障害者 | 肢体不自由者 | 内部障害者 | 知的障害者    | 精神障害者 | その他 |
|-------|-------|--------|-------|----------|-------|-----|
| —     | —     | —      | —     | 9<br>(1) | —     | —   |

( )内は重度障害者

■事業内容 衣料・服装洋品の小売・卸売業、返品商品の仕分け業務

### 改善の概要

#### 改善の背景

障害者の雇用を目的に設立した新会社。知的障害者に適した仕事として、倉庫業務の中の返品処理業務に注目した。従来、業者に委託していた不採算の業務を自社運営でスタートさせた。

#### 改善の内容

#### 新会社の課題

1. 採算性の向上
2. 親会社の法定雇用率早期達成
3. 業務の拡大と業務量の平準化

## 1 採算性の向上対策

返品処理作業を分析し、知的障害者の特性を活かした自動仕分機の開発を衣料品物流設備メーカーに依頼した。

### ■障害者向け仕分設備の提案ポイント

| 項 目            | 障害者向け改良装置   |
|----------------|---|
| 自動仕分機に商品をのせる方法 | 商品をダンパー(自動投入装置)にのせると、ダンパーが仕分機の空いているトレーを見つけて自動載荷を行う。 |
| 自動仕分機の用途       | 返品作業だけでなく、他の出荷作業も同じ作業で容易にできるソフト開発。                  |
| 仕分機の画面操作       | 障害者が容易に画面通りに作業をすることで、作業集計、チェック作業がコンピュータで行える。        |
| 仕分間口の安全性       | 危ない所には検知器をつけて、人が近づくと機械が緊急停止するようにする。                 |
| コンベヤの安全性       | 人が入りそうな所には、カバーをつけ、検知器をつける。検知器が作動すれば緊急停止する。          |



**業務の効率化を図るための自動仕分機を導入**

## 2 業務の拡大と平準化対策

- ・機械導入により処理能力が向上したため、新たに1社の業務を取り込んだ。
- ・衣服だけでなく、水着業務も取り込んだ。

## 1 生産性の向上

自動仕分け機（ソーター）を導入後、処理枚数は手作業に比べ、34.3%向上した。

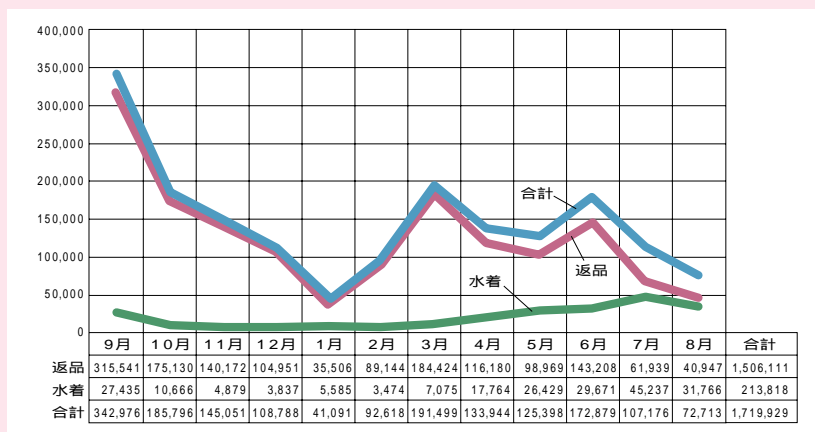


**不採算業務が採算ベースに乗る見込みがついた**

## 2 業務の拡大と平準化

- ・新たな業務の増加で、平成11年度の取引業務量は90万枚から170万枚に。
- ・衣服業務と水着業務のピークがずれるため、特に4月以降の作業量が平準化。

■三愛エスポータル業務処理量（平成11年度）



## 3 障害者の雇用も拡大

業務の拡大が障害者の雇用促進につながっている。雇用は計画どおりに行われ、人数も年々増加している。障害者は平成10年の4名から、平成11年は9名に増加し、平成12年は3名の採用が内定した。



**親会社が法定雇用率を達成できる見込みがついた**

## 4 障害者各自の能力が平均化

機械を使い、マニュアル通りに作業を進めるので、仕事の速さのバラツキが少なくなり、結果として全体の効率が上がり、各自の能力も平均化された。

## 5 職場の活性化

- ・障害者が機械に興味を持ち、積極的に仕事に取り組んでいる。
- ・機械化による業務の単純化により、仕事の停滞が少なくなった。
- ・リーダー役が誕生し、管理者が教えを請うような場面も見られるようになった。
- ・チームワークがよくなり、明るくなった。
- ・時折、見学に来る学校の先生が、一様に「明るく、元気になった」と評価している。